

# 伴野豊の絆レポート No.33



## 伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。猛暑が続いたかと思えば台風襲来。いかがお過ごしですか？まだまだ厳しい残暑が続きそうです。引き続き熱中症に気をつけて、ともに頑張りましょう！さて、私の今年の夏の活動は例年通り、七月中旬頃から知多半島各地の行事に毎日毎晩参加させて頂き、気がついたら既に立秋を過ぎておりました。二日順延されて開幕した夏の甲子園。今年も沢山の青春のドラマが誕生することでしょう。今年の夏の甲子園のサイレンの音には、特に「平和であればこそ」の響きを感じます。広島、長崎の原爆の日に続き、今年もまもなく終戦の日を迎えます。日本人が最も深く平和を考えなければならない一週間がまたやって来ました。特に今年は、今まで以上に深く、深く、出来るだけ深く考えねばなりません。

## 伴野豊の気になる国土交通政策



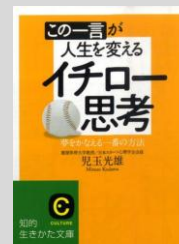
国土交通行政にかかる最近の動きについて気になるものをピックアップして見ました。

- 「昇龍道」の世界への発信に向けた意見交換会を開催（7月30日）  
7月30日（水）、「昇龍道プロジェクト推進協議会」（会長：三田敏雄・中部経済連合会長）は、国土交通副大臣、観光庁長官をはじめ国交省幹部との意見交換会を名古屋市内で開催しました。昇龍道プロジェクト推進協議会からは、愛知県知事、三重県知事をはじめ中部・北陸9県の副知事や北経連専務理事等が出席し、「昇龍道」の知名度向上への支援や外国人観光客の誘客促進に向けた環境整備を求めました。副大臣は「東京での昇龍道シンポジウムには、国としても後援協力を約束したい。また、ビザ要件緩和や無料Wi-Fi等の環境整備で誘客を後押ししたい」と述べました。
- 交通政策基本計画の案の公表（8月5日）  
国土交通省は5日に開催された「第4回交通政策基本計画小委員会」において「中間とりまとめ（案）」を公表しました。羽田、成田両空港の国際線就航都市数をアジアの主要空港並みに増やすなどの目標を盛り込んでいます。
- 「超小型モビリティの導入促進」事業の公募（8月5日）  
国土交通省では、超小型モビリティの普及や関連制度の検討に向け、成功事例の創出、国民理解の醸成を促す観点から、地方公共団体等の主導によるまちづくり等と一体となった先導導入や試行導入の優れた取組みを重点的に支援する「超小型モビリティの導入促進」事業を実施します。この度、本事業の公募を開始いたしました。

## 伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、鹿屋体育大学教授・児玉光雄さんの「この一言が人生を変えるイチロー思考」です。最近、新聞の大リーグの欄にイチローを探します。イチローの文字を見つけるだけで勇気もらっています。スタメン出場ヒットの時もあれば代打、代走、守備固めだけという日もあります。今与えられた仕事を全力で黙々と行っている。彼の栄光の数々もさることながら、今現在の彼のこの姿勢に彼の本当の凄さ、健全なプライドを感じます。「苦しいときやピンチ、逆境のときにしか、進化を見いだせない」学ぶことの多い彼の一言です。

三笠書房（定価：本体 571 円＋税別）



**ば** ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

